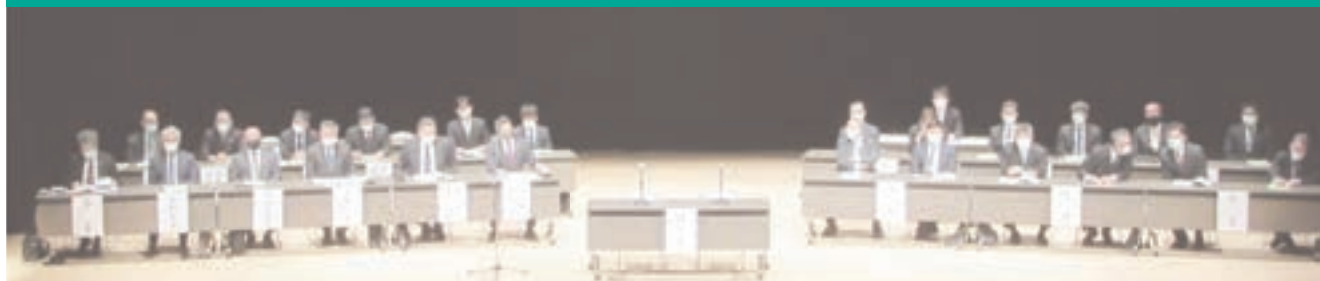


広報 道北なよろ



J A道北なよろ 第17回通常総代会開催



4月8日、名寄市民文化センターエンレイホールにおいて、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、第17回通常総代会が開催されました。

中村常務による開会宣言後、東野組合長より昨年の農業情勢や農協事業の取組等について挨拶があり、その後の議長選出にて風連地区の水上治さん、智恵文地区の夏井光明さんの両名が選出され議事進行が行われました。石山参事による令和3年度決算報告及び事業報告の中で当期純利益128,127千円、繰越利益52,050千円等を含め当期末処分剰余金182,733千円の計上が出来たことに対して組合員皆様へお礼を申し上げた後、定款の一部変更や令和4年度事業計画の設定等の説明がありました。総代数210名に対し、本人出席109名、委任出席3名、書面出席64名の合計176名（出席率83.8%）の出席をもってすべての議案が承認され、盛会のうちに総代会終了となりました。

『第17回道北なよろ 農業協同組合通常総代会』挨拶



代表理事組合長 東野 秀 樹

本日は、道北なよろ農業協同組合 第17回通常総代会に際し、春作業も本格化し大変お忙しい中、又、コロナウイルス対策にご理解を頂く中で、大勢の総代の皆様のご出席を賜りましたことに、感謝を申し上げます。重ねて、日頃より協同組合活動への特段のご理解を賜り、各種農協事業に対し、多くのご利用を賜り、ご指導・ご協力を頂いておりますことに心から敬意と感謝を申し上げます。又、本日ご来賓としてご出席を賜りました、名寄市加藤市長・中野道議会議員のお二方に於かれましては、年度初めのお忙しい中ご出席賜りましたこと、加えて地域の農業振興は元より、当農協事業運営全般に対しまして、特段のご支援・ご協力を頂いておりますことに、衷心より敬意と感謝を申し上げます。上げる次第でございます。

さて、昨年に於いては、依然として世界中がコロナウイルスに振り回され各種行事、祭事に及ぶまでほとんどすべてが中止せざるを得ない状況で、今日こうして皆様にお会いするのも久々でございます。一刻も早くこの状況が収まってくれることを、願うばかりであります。

昨年の作柄に於いては春先の雪解けは順調でありましたが、その後の降雨続きで畑作については蒔き付け作業に苦戦を強いられる結果となりました。

植え付け作業が終わった後の6月後半以降一ヶ月半もの、過去に例の無いほどの高温干ばつに見舞われ定植直後の作物に甚大なダメージを受けてしまいました。

この影響をまともに受けたのが、馬鈴薯・甜菜・露地野菜などで顕著でありまして、個人差こそありますが、総じて低反収となっております。

まいりました。

一方水稲については、シーズン通しての高温と栽培技術の向上によって、平均反収11・1俵、出荷量に於いては過去最高の34万9千俵を超える出荷を頂きました。

麦・大豆・ソバ等に於いても干ばつと収穫時期の断続的な降雨によって一部品質低下もありましたが、概ね平年作に近い出荷を頂きました。

青果物に於いても、コロナウイルスによって労働力の確保等大変ご苦労もあった中ではありましたが、名寄大学の学生さん達の『援農ボランティア事業』等のお陰で、アスパラの経年減少を除いては、作付けを大きく減少させることは無かったものの、高温干ばつの影響を受け残念ながら計画額を達成するに至りませんでした。

総じて収量こそは減少したものの、青果物全般的に言えば、他産地から見ても平均価格も安定しており、これまでの各生産部会の継続的な活動や、皆様の日々の努力が、この消費の鈍いコロナ禍に於いても産地の評価となって表れた年となりました。

又、畜産関係に於いては、飼料価格の更なる高騰と年末から続く消費減退による生乳や乳製品の過剰在庫など、非常に厳しい環境ではありますが、系統一元集荷による安定した乳代価格の維持と、酪

農家さんの良質な粗飼料生産の努力によって計画額を上回る実績をあげて頂きました。

結果と致しまして、農畜産物の販売事業実績としては、過去最高の96億2千8百万円を積み上げて頂きました。

農協の決算と致しましても、事業利益1億1千2百万円、当期利益剰余金1億2千8百万円を計上させて頂きました。

これに伴って、剰余金処分については配当金総額6千2百万円、その内、一年間皆様にご利用頂いた肥料・農薬・飼料・共済の事業分量配当には過去最高額の、5千万円を超える金額を提案させて頂くことが出来ました。

これもひとえに組合員皆様による農協事業への結果を頂いた結果であり、重ねて感謝を申し上げるところでございます。

一方、農業情勢に於いては、生産コストの急上昇やコロナウイルスの影響による外食産業や観光産業の大幅な落ち込みによって、従来までの消費形態が急変し需給のミスマッチがおこっており、米・乳製品・砂糖を始めとした在庫が大きく膨らんでいる状況であります。

業界や系統をあげて消費拡大運動等、組合員の皆様にもご協力頂きながら努力しているところであります。

取り分け生乳については、廃棄の危機に瀕している状態でありますので、これについては絶大なご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

消費が低迷しているコロナ禍の今だからこそ、地元の農産物の価値を地元の消費者に今まで以上に理解していただくこと、更には、系統販売を軸とした複数年契約などフル活用しながらJA系統販売の底力を発揮する時だと考えております。

最後に、令和3年4月から操業開始を致しました子会社らくみらんど(株)でありましたが、丁度一年が経過を致しました。

後程報告もありますが、概ね計画通り進捗致しており、本年12月には満床の850頭となる予定をしており、令和5年度には黒字化出来るよう、酪農家の皆様共々継続して取り組んで参ります。

又、堆肥の生産についても本年秋頃には出荷可能となりますので、改めて見通しが立った時点でご案内致しますが、昨年のような高温干ばつ対策や高収量・高品質生産を維持するための土づくりにご利用賜りますよう重ねて宜しくお願い申し上げます。

結びにあたり、本年は第4次地域農業振興計画・中期経営計画5年目の総括の年に当たり、同時に次期第5次計画の策定協議をする

年でもあります。

燃料を始めとする生産コスト上昇や世界情勢・国内情勢や世界の食糧事情、更には国内の農政も刻一刻と変化する中ではありますが、名寄地域農業が持続的発展的に継続できるよう5年、あるいは10年先を見据えながら、時代のニーズに乗り遅れることの無いよう、名寄市や北海道そして国等の関係機関の更なる強固なパイプの確保に努め、ご協力ご支援を賜りながら着実に進めて参る所存であります。

そして組合員皆様に於いても、それぞれの立場で将来の地域農業を想像して頂きながら共に行動していくことで、継続性のある地域農業の姿が見えてくると考えてございます。

又、地域における総合農協としての価値を、最大限発揮できるよう役職員一同引き続き努力して参る所存でありますので、今後とも特段のご指導ご協力宜しくお願い致します。

今年一年が組合員皆様にとって、ご健勝で実り多い一年となりますようご祈念を申し上げますと共に、ご臨席の皆様にかかれましては益々のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本総代会にあたりお礼の挨拶と致します。

令和3年産 JA道北なよろ

重点振興作物共励会

例年青果合同総会の前段で行われていた重点振興作物共励会ですが今年も昨年同様、新型コロナウイルスの感染を避け、青果合同総会が書面にての開催となりましたので個別に表彰させて頂きました。

共励会の目的は、高い生産技術により良質・高収量の成果を上げている生産者を表彰し、その生産実績を周知することにより生産者の作付意欲の向上を求め、重点振興作物の作付面積維持及び反収量の底上げを図ることとし実施されております。

●生食馬鈴薯（男爵薯）

高品質 最優秀賞 宮田 雅祥

優秀賞 南原 一幾

高反収 最優秀賞 南原 一幾

優秀賞 熊谷 洋

●生食馬鈴薯（キタアカリ）

高品質 最優秀賞 宮田 雅祥

優秀賞 菊地 守

高反収 最優秀賞 南原 一幾

優秀賞 宮田 雅祥

●生食馬鈴薯（きたかむい）

高品質 最優秀賞 大石 一貴

優秀賞 越 孝則

高反収 最優秀賞 五十嵐真吾

優秀賞 遠藤 寛

●グリーンアスパラ（露地）

作付面積80a以上

最優秀賞 松本 和俊

優秀賞 飯塚 明夫

作付面積80a未満

最優秀賞 泉 繁一

優秀賞 湯浅 修一

●生食スイートコーン（イエロー種）

作付面積200a以上

最優秀賞 大石 一貴

優秀賞 越 孝則

作付面積200a未満

最優秀賞 奥山 茂雄

優秀賞 佐藤 暢

●生食南瓜早生（味早太・味平）

最優秀賞 熊谷 守

優秀賞 佐久間博之

●生食南瓜晩成（つらら・えびす）

最優秀賞 寺野 俊幸

優秀賞 松下 守



熊谷 守さん



大石一貴さん



松本和俊さん



寺野俊幸さん



奥山茂雄さん



泉 繁一さん

令和4年度生産部会(組合) 役員

名寄市もち米生産組合 組合長 市本 豊幸 副組合長 横山 圭太	うるち米生産組合 組合長 高橋 尚幹 副組合長 橋本 尚幹	麦大豆良質生産協議会 組合長 米澤 俊一 副組合長 干場 和幸	グリーンアスパラ部会 組合長 永井 健一 副組合長 鷲田 友貴	南瓜部会 組合長 水森 上治 副組合長 藤森 将二	葉菜部会 組合長 寺崎 忠一 副組合長 川崎 清一	百草根部会 組合長 飯塚 勝也 副組合長 夏井 光也	玉葱部会 組合長 遠藤 寛弘 副組合長 橋本 正史	スイートコーン部会 組合長 清水 拓馬 副組合長 北野 雅嗣	花き生産組合 組合長 藤垣 昭修 副組合長 越智 男	西瓜・苺・メロン部会 組合長 佐藤 直人 副組合長 佐藤 洋人
ピーマン部会 組合長 我妻 昌幸 副組合長 富田 龍一	トマト部会 組合長 杉野 智彦 副組合長 山家 智彦	ピヤシリアスパラ研究会 組合長 遠藤 俊博 副組合長 佐久間 博之	なよろ星空雪見法蓮草生産組合 組合長 神田 勇一郎 副組合長 杉野 敦	食用馬鈴薯生産部会 組合長 木之内 将二 副組合長 藤森 将二	加工馬鈴薯部会 組合長 松本 浩次 副組合長 伊東 浩次	智恵文種馬鈴薯部会 組合長 山本 貴広 副組合長 遠藤 貴広	カノコソウ生産組合 組合長 新田 和司 副組合長 阿部 和司	JA道北なよろ酪農部会 組合長 池田 大介 副組合長 田代 真一	JA道北なよろ畜肉部会 組合長 鈴木 康裕 副組合長 鈴木 英二	

	JA道北なよろ 青年部本部	JA道北なよろ 青年部風連支部	風連町 農民連盟青年部	JA道北なよろ 青年部名寄支部	JA道北なよろ 青年部智恵文支部
部 長	山 本 誠	安 達 康 治	執行委員長 川 原 久 文	小田桐 康 樹	飯 塚 勝 也
副部長	高 橋 拓 也	平 澤 宏 幸	副執行委員長 若 松 侑 治	久 保 隆 文	南 原 一 幾
副部長	佐 藤 拓 也		書記長 武 田 明 大	平 間 京 太	
	会 計 北 明 佳 祐	理 事 山 崎 克		監 事 宏 樹	会 計 雄 太
	監 事 恵 一	理 事 松 下 康 広		監 事 勇 介	岩 崎 祐 司
	監 事 木之内 悟	理 事 柿 川 慎 哉		市 本	松 下 祐 司
		会計監査 日 野 明			監 事 山 口 佑 馬
		会計監査 杉 野 敦			

令和4年度 青年部 新役員



◇ JA道北なよろ青年部 本部 ◇

左上から

北明 佳祐 (会計)、木之内 悟 (監事)、
宗万 恵一 (監事)

左下から

高橋 拓也 (副部長)、山本 誠 (部長)、
佐藤 拓也 (副部長)

令和4年度 女性部 新役員

	J A道北なよろ 女性部本部	J A道北なよろ 女性部 風連支部	J A道北なよろ 女性部 名寄支部	J A道北なよろ 女性部 智恵文支部
部 長	菅 野 真記子	支部長 住 田 美 紀	支部長 矢 吹 祐 子	支部長 菅 野 真記子
副部長	住 田 美 紀	副支部長 日 野 美紀子	副支部長 中 野 寿 子	副支部長 阿 部 やよい
副部長	矢 吹 祐 子			
監 事	日 野 美紀子	中 野 玉 味	沖 澤 富 子	松 下 克 得
監 事	中 野 寿 子		沼 澤 絵 理	
監 事	阿 部 やよい			



◇ J A道北なよろ女年部 本部 ◇

左上から

中野 寿子（監事）、阿部やよい（監事）、
日野美紀子（監事）

左下から

矢吹 祐子（副部長）、菅野真記子（部長）、
住田 美紀（副部長）

麦・大豆栽培技術講習会

3月16日営農センターにおいて、午前・午後の部に分け麦・大豆栽培技術講習会が開催されました。

講習会では、講師の上川農業改良普及センター越智主査より、秋まき小麦きたほなみの越冬後の栽培管理のポイントとして、名寄市における秋まき小麦の栽培の現状から融雪後の窒素施肥の考え方や受光態勢を良好に保つことの有用性、倒伏が心配であれば植物成長調整剤の活用を進めるなどの説明と、大豆の栽培管理のポイントとして、は種時期、は種深度、栽植本数、土壌診断に基づく施肥と窒素追肥の判断、病害虫防除、収穫（子実水分18%以下）、汚粒の予防、土づくりなどについての説明がありました。続いて、関係機関からの情報提供として、名寄市農業振興センターより土壌診断に基づく施肥について説明され、資材メーカーより春まき小麦のDd肥料と新規系統の防除剤等について紹介がありました。

なお、各講習会の詳しい内容につきましては、J A道北なよろホ

ームページの「J A道北なよろからのお知らせ」に当日使用した資料をPDF形式にて掲載しておりますので、ぜひご活用下さい。



秋まき小麦融雪後の栽培技術に係わる

現地講習会



令和4年産の安定した収量確保を目指す為、JA道北なよろ、名寄市農業振興センター、普及センタ―名寄支所が連携し、令和4年4月15日(金)風連地区齋藤寛さん圃場、智恵文地区北野裕介さん圃場にて現地講習会が行われ、農業者22名のほか、関係機関からも多数の出席がありました。始めに麦大豆良質生産協議会会長の長谷川隆さんよりご挨拶をいただいた

後、普及センタ―越智主査から止葉期までの栽培管理として、融雪後は圃場ごとに雪腐病の発生状況、生育状況を必ず確認し適期に窒素追肥を行うことと、倒伏が心配される圃場については植物成長調整剤の使用も検討してほしいと説明がありました。実際に圃場に入り茎数の確認を行うなどし、講習会終了後も管理に関して質問する参加者が多くみられました。

令和3年度

北海道信用事業優績JAの表彰状授与

当JAが「北海道信用事業優績JA表彰選定基準」における重点推進活動において優秀な成績と総合的な成果を収めたことから、JA A北海道信連より「総合表彰JA」として表彰状が授与されました。優績JA「総合表彰」の選定基準は、全道96JAを対象とする中で重点推進項目(JAバンクローン新規貸付、年金口座獲得など)

のポイントランキング上位1位、15位を表彰するもので、当JAは全道12位の成績で表彰されました。今後も地域に貢献できるJAバンクとして、利用される皆様の安定的な資金調達と良質な金融サービスに努め、多様な資金ニーズに対し適切な資金対応に取り組んで参ります。



ここほっとカフェ 他分野連携事業 もち米 贈呈式

4月20日、ここほっとカフェ(西條名寄店內西側1F) 他分野連携事業もち米贈呈式が同店にて行われました。

他分野連携事業は農協・市社協・道北センター福祉会・名寄市共同募金委員会の4団体が連携し、障がい当事者の社会参加拡大や障がい理解の啓発、市民の地域福祉活動への参加拡大等を目的とした取り組みを行っています。

ここほっとカフェでは飲み物や食事の提供を行っています。今回は様々なメニューに活用していただけのように、昨年も寄贈したもち米「はくちようもち」に加え、うるち米「ななつぼし」を寄贈いたしました。

式に出席した東野組合長は「名寄はもち米の産地として知られているが、うるち米の美味しさも料理で提供することで多く

の人へ特産品としてアピールし、消費拡大に繋がって欲しい」と期待を寄せました。
売り上げの一部は道北センター福祉会より名寄市共同募金委員会へ寄付されます。



イオンなよろウォーキング

4月22日、Nスポーツコミッション主催のイベント「イオンなよろウォーキング」がイオン名寄店で開催されました。名寄市、農協、北海道味の素株式会社、大塚製薬株式会社が協力し、健康に重要な「運動」と「食」を連携させたイベントとして行われ、東野組合長を含む市民・関係者など約100名が参加しました。参加者はウォーキングのポイント解説を受けた後、店内に新設されたコース内4か所に設置された健康にまつわるクイズを回答しながら、ウォーキングを楽しみました。



本 所

参 事 監 査 室 なよろ地域づくり事業 協同組合



石山 健一



宗片 浩樹 (課長)



寺田 勝志 (囑託)

令和4年度定期異動がありましたので
広報誌面にて職員紹介をさせて頂きます。
職員一同気持ちも新たに精進して参りますので
組合員の皆様におかれましては今後とも
宜しくお願い致します。

職 員 紹 介

総務部 (総務課・審査課)



後列左より

石崎 海玖 (総務係兼審査係)
平島久美子 (総務主任)
山岸 奈々 (総務係)

前列左より

榮 維民 (総務係長)
秋葉 哲哉 (審査課長)
斉藤 宏治
(総務部長兼監査室長)
林 龍一 (総務課長)
山崎 賢一 (総務課長補佐)

金融共済部 (金融課・共済課)

後列左から

井川 大介 (共済係)
小松 真紀 (共済主任)
前澤 優南 (共済臨時)
樫谷 瑞稀 (金融係)
渡辺久留充 (金融係)
奈良 日愛 (金融係)
山添 実咲 (金融係)

前列左から

河西 伸拓 (共済係長)
齋藤 将 (共済課長)
奥山 克志 (金融共済部長)
多田 義明 (金融課長)
三木 友美 (金融係長)



営農販売部（営農課・農産課）



後列左から

大山 真白（農産係兼営農係）
 本田 晴美（農産係長）
 堀江 高充（農産主任）
 黒川三知代（農産係兼営農係）
 西浦 雅彦（農産係）
 類瀬 尚利（農産係兼営農係）
 我妻 年彦（農産臨時）
 青木 龍星（農産係兼営農係）
 塩入 稜太（農産係兼営農係）
 津志田 雛（営農係兼農産係）
 早坂 典晃（営農係兼農産係）
 前澤 匠（営農係兼農産係）

前列左から

川上 晶弘（農産係長） 白井 崇睦（農産課長補佐） 篠崎 英和（農産課長）
 佐藤 昌規（営農販売部長） 佐々木拓也（営農課長） 森重 晶太（営農課長補佐）
 菅原 麻依（営農主任）

名寄市農業振興センター



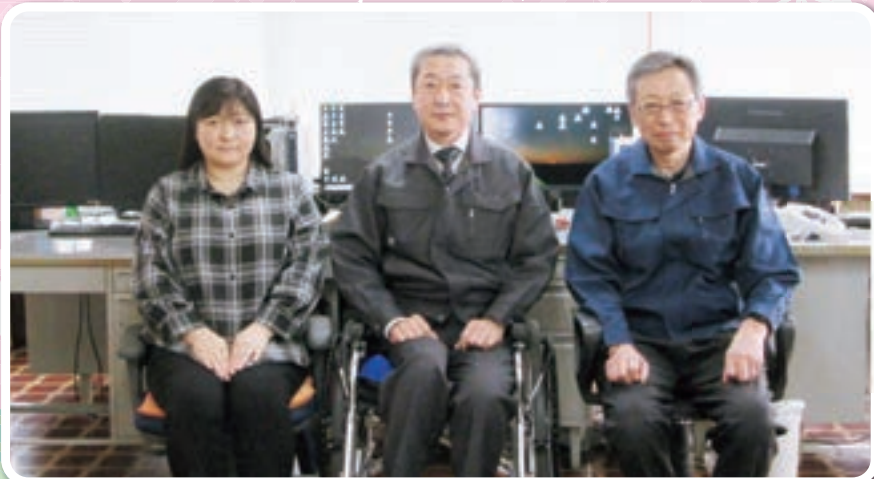
左から

神野 律子（臨時）
 又村 明仁（嘱託）

名寄市資源保全広域協定

左から

山田 千早（臨時）
 佐藤 富雄（臨時）
 駒崎 一男（臨時）



購買部購買課



後列左から

松木 弘治 (臨時)
奥山 凌 (係)
吉田 大 (係)
花岡 益代 (臨時)
前田 一行 (囑託)

前列左から

八巻好穂子 (主任)
中村 龍矢 (係長)
安達 秀一 (購買部長)
仁木 康裕 (課長)
渡辺 真弓 (主任)

購買部燃料課 (風連給油所)

後列左から

川田美由紀 (臨時)
中野 茂 (臨時)
幕田 隆 (臨時)
上田 栄一 (臨時)

前列左から

西原 健一 (係)
酒井 浩 (課長)
結城 考哉 (係)



購買部農機車輜課 (風連メカニックセンター)



後列左から

佐藤 直樹 (係)
鈴木 直人 (係)
枝 豊治 (囑託)
眞坂さおり (主任)
加藤 美穂 (臨時)
関口 義則 (係)

前列左から

杉野 航太 (係長)
枝 明宏 (係長)
舟山 利昭 (課長)
松田 祐司 (主任)
石戸谷敏明 (係長)
今村 隆之 (主任)

営農センター

営農課

後列左から

清水 健司 (係)
 楽山 翔也 (係)
 及川 弘志 (係)
 類瀬 朋子 (係)

前列左から

近藤 恭平 (係長)
 高橋 邦彦 (課長)
 渡邊真由美 (課長補佐)
 渡邊 ゆうこ (主任)



藤原 武憲
 (営農販売部次長
 兼営農センター長)

青果課



後列左から

岡田 祐輝 (係)
 鈴木 希美 (係)
 金住 絵理 (主任)
 久保 絹代 (係)
 村上 慎吾 (係)

前列左から

竹内 謙太 (係長)
 遠藤 政文 (課長)
 菊池 真悟 (課長補佐)
 山本 将行 (主任)

畜産課

左から

鷺見 鎮 (係)
 堀 貴広 (課長)
 出原 大地 (係長)
 松井 美恵 (臨時)



らくみらんど (株)



齋藤 祐次
 (営農販売部付次長)
 (らくみらんど株出向)



酪農ヘルパー



左から 山田 司 (臨時) 清水 隆司 (臨時)
 津野 大将 (臨時)

名 寄 支 所

金融共済課

後列左から

屋敷 彩香 (金融臨時)
岡田 香織 (金融係)
小泉 紀子 (金融係)
西野 悠子 (共済主任)

前列左から

今田 正人 (金融係長)
吉田 敬志 (支所長)
藤原 雄一
(金融共済課長 兼共済係長)
齊藤 巧 (共済係)



購買課

後列左から

滋野 文枝 (係)
沼田 拓也 (係)
荒瀬いすず (嘱託)

前列左から

井上 誠 (課長)
小山 文功 (係長)



燃料課 (名寄給油所)



後列左から

濱田 賢 (臨時)
遠藤 美里 (臨時)

前列左から

北明 靖憲 (係長)
佐藤 義樹 (臨時)

智恵文支所

金融共済課

後列左から

斉藤 萌 (係)
柴崎 梓 (係)

前列左から

高岩 諭 (課長)
野原 格子 (支所長)
薄井 順也 (係長)



購買課・燃料課 (智恵文給油所)



後列左から

成田 利昭 (囑託)
今村 健司
(購買課長兼農機車輛係長)
齊藤 雅也 (資材係兼給油所係)

前列左から

佐藤 雅樹
(購買課係長兼燃料課係長)
小柳 照美 (臨時)

農機車輛課 (智恵文メカニックセンター)

左から

原田 実 (臨時)
中園 将史 (係)
山本 直樹 (係)



新入職員紹介

井川 いがわ
大介 だいすけ
(19歳)



①所属 金融共済部共
済課共済係
②生年月日 2002
年6月20日

③最終学歴 J Aカレッジ
④出身地 名寄市

⑤趣味 焼肉

⑥特技 大食い

⑦その他PR等があればここに記入下さい。
なんでも食べます！よろしく願います。

⑧挨拶・決意表明・今後について等

4月から入組いたしました、名寄生まれ
名寄育ちの井川大介です。

学生から社会人となり、いまだ実感は湧きません。昨年度は1年間という短い期間ではありましたがJ Aカレッジでの生活を送りました。そこで培ったものを糧に粘り強く、元気に明るく頑張ります。責任と自覚を持ち、高校・J Aカレッジで学んだ挨拶や礼儀の大切さを一番に心にとめ、自分の武器であるポジティブ思考を前面に出し、皆様の力になれるよう日々精進します。また、野球部での活動も一生懸命に取り組みます。

コロナ禍で非常に厳しい世の中ではありますが、これからどうぞよろしく願います。

山添 やまぞえ
実咲 みさき
(18歳)



①所属 金融共済部金
融課金融係
②生年月日 2004
年2月21日

③最終学歴 下川商業高等学校
④出身地 名寄市

⑤趣味 食べる事

⑥特技 バレーボール

⑦その他PR等があればここに記入下さい。
明るく元気に頑張ります

⑧挨拶・決意表明・今後について等

4月1日から入組させていただきました、金融
共済部金融課に配属となりました山添実咲
です。

入組したばかりで、右も左も分からない
状態で不安な気持ちもありますが、先輩方
に教えて頂いた仕事を日でも早く覚え、し
っかりと丁寧に、そして確認を忘れずに取り
組んでいきます。また、組合員の皆様のお役
に立てるよう、感謝の気持ちを大切に、信
頼関係を築いていけたらと思っています。

そのためには名前と顔を覚えて、挨拶や言
葉遣いに気をつけ、コミュニケーションをとる
ことが出来ればと思っています。

これからは社会人として自分の行動に責
任を持ち、先輩方の背中を見て学び成長し
ていけたらと思います。ご迷惑をかけるこ
ともあるかと思いますが、元気いっぱい頑
張りますので、どうぞよろしく願います。

津志田 つしだ
雛 ひな
(18歳)



①所属 営農販売部営
農課営農係兼農産課農
産係
②生年月日 2003
年7月17日

③最終学歴 下川商業高等学校
④出身地 下川町

⑤趣味 スキージャンプ観戦、映画鑑賞

⑥特技 スポーツなら何でもできること

⑦その他PR等があればここに記入下さい。
一生懸命働きます！

⑧挨拶・決意表明・今後について等

4月1日から入組し、本所営農課に配属
されました津志田雛です。

私は12年間スキージャンプをやり、自分
の納得のいく成績を出すために努力をして
きました。海外の大会に出場、メダル獲得
など貴重な経験ができました。たくさんの方
に出会い、応援、支えてもらいました。
この経験を活かして組合員さんを支えてい
けるように頑張ります。ですが今までは
違い、自分が要望や相談などを受ける側にな
ります。農業、仕事についても何もわか
らず不安な反面、新しい環境で働くことの
嬉しさもあります。先輩方に助けてもらい
ながら一歩ずつ「努力は裏切らない」をモ
ットーに一生懸命、力になれるように努力
していきます。よろしく願います。



令和2年産加工用もち米

全道共計に係る精算結果について

ホクレンより令和2年産加工用もち米全道共計精算内容について確定通知がされましたので、生産者皆様へ周知いたします。

1. 令和2年産加工用もち米全道共計については、参加俵数111,603俵となり、令和3年12月に全量受渡しの完了、第4回北海道もち米団地連絡協議会において、見込精算内容について承認され、令和3年12月24日付けにて見込精算を実施した経過にあります。
2. 精算金の支払い及び経理処理を完了し、最終的な共計残余金は5,022,028円となりました。
3. 共計残余金については、「米穀共同計算実施要領」に定める繰越上限の範囲内となることから、令和4年3月30日付で令和3年加工用もち米全道共計への繰越を行いました。

令和2年産加工用もち米全道共計勘定（確定）

科目	項 目		金 額 (円)			
			本 体	消費税	計	
共 計 受入金	前年産繰越金		4,840,014	484,001	5,324,015	
	販売代金		1,252,314,028	100,185,172	1,352,499,200	
	運賃（割増・実引差額）		2,204,850	220,486	2,425,336	
	金 利		37,519	0	37,519	
	経過保管料（販売先から受入）		941,488	94,150	1,035,638	
	事故処理受入金		0	0	0	
	共計契約違約金		0	0	0	
	総 計		1,260,337,899	100,983,809	1,361,321,708	
共 計 支払金	品 代	入庫時概算金		877,774,040	70,221,928	947,995,968
		追加概算金		279,748,216	22,379,858	302,128,074
		共計精算金		0	0	0
		格差精算金		534,890	42,790	577,680
		合 計		1,158,057,146	92,644,576	1,250,701,722
	流 通 費 用	系 統 手数料	ホクレン手数料	18,033,098	1,803,311	19,836,409
			小 計	18,033,098	1,803,311	19,836,409
		販 売 経 費	運賃	70,200,652	7,020,067	77,220,719
			農倉保管費用	565,083	56,509	621,592
			集約保管費用	2,692,700	269,271	2,961,971
			小 計	73,458,435	7,345,847	80,804,282
		金 利	4,957,267	0	4,957,267	
		合 計	96,448,800	9,149,158	105,597,958	
		その他 費 用	事故処理支払金	0	0	0
	合 計		0	0	0	
	総 計		1,254,505,946	101,793,734	1,356,299,680	

差 引	5,022,028
-----	-----------

組合員の皆さまへ

既に他社クレジットでご購入された農機具はございませんか？

JA フルスペックローンと

他社クレジット借換のご案内

JAフルスペックローンは他社からの借換もできます。

現在返済している他社クレジットから
借換を検討してみませんか？



◆ 他社クレジットとJAフルスペックローン借換後との比較

【他社クレジット支払例】

・所要金額 7,000,000 円 ・支払回数 1 回
→手数料利率 2.3% (アドオン) の場合の分割手数料 **1,127,000 円**

JA フルスペックローン
借換した場合

【JA フルスペックローン支払例】

・借入金額 7,000,000 円
・借入期間 7 年
・支払利息保証料 **731,430 円**

【利 率】当初 3 年間 1.2%、4 年目以降 2.0%

【保証料】0.4%

借換メリット!!!

総額 **395,570 円**



※一定条件による概算であり、実際のご返済額とは異なる場合があります。

詳しくは各本支所金融窓口へお気軽にご相談ください!!

JA道北なよろ

経営所得安定対策等の概要

畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

【水田・畑地共通】

（所要額：2,058億円）

【認定農業者、集落営農、認定新規就農者が対象（いずれも規模要件はありません。）】

数量払

生産量と品質に応じて交付

【令和2年産～4年産の平均交付単価】※ 交付単価は品質区分に応じて設定

対象作物	平均交付単価
小麦	6,710 円/60kg
二条大麦	6,780 円/50kg
六条大麦	5,660 円/50kg

対象作物	平均交付単価
はだか麦	9,560 円/60kg
大豆	9,930 円/60kg
てん菜	6,840 円/t

対象作物	平均交付単価
でん粉原料用ばれいしょ	13,560 円/t
そば	13,170 円/45kg
なたね	8,000 円/60kg

注1：てん菜の基準糖度は、16.6度

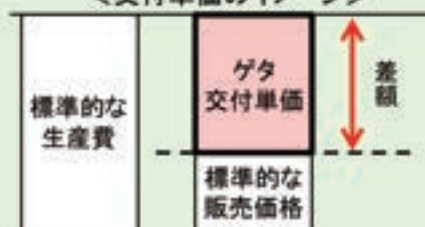
注2：でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.7%

面積払

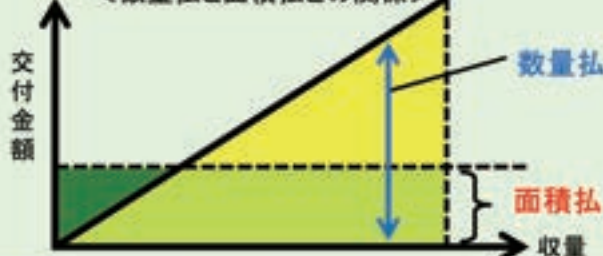
当年産の作付面積に応じて、数量払の先払いとして交付

20,000円/10a（そばは、13,000円/10a）

<交付単価のイメージ>



<数量払と面積払との関係>



米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）

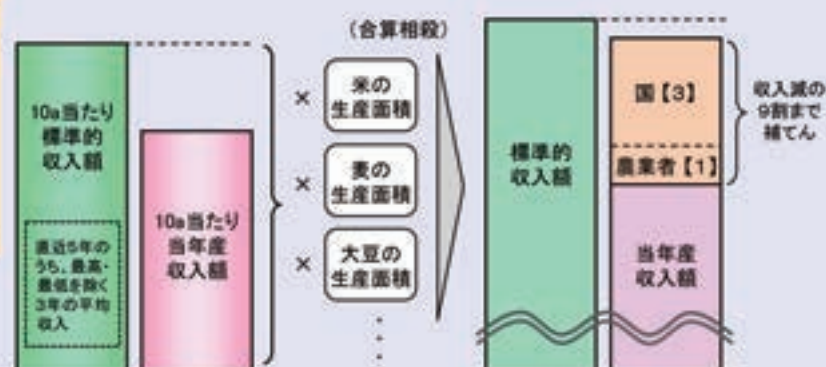
（所要額：683億円）

【認定農業者、集落営農、認定新規就農者が対象（いずれも規模要件はありません。）】

〔都道府県等地域単位〕

〔農業者単位で算定〕

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てん。
（農業者と国が1対3の割合で拠出）
積立金は掛け捨てではありません。



水田活用の直接支払交付金

戦略作物助成

(令和4年度予算概算決定額:3,050億円)

対象作物※1	交付単価
麦、大豆、飼料作物※2	35,000円/10a※3
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、55,000円～105,000円/10a※4

※1 基幹作物のみ対象 ※2 飼料用とうもろこしを含む

※3 多年生牧草について、当年度において播種を行わず収穫のみを行う年は1万円/10aで支援

※4 過去実績から標準単収以上の収量が確保されたと認められる者には、自然災害等の場合でも、特例措置として標準単価(8万円/10a)で支援

産地交付金

地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」に基づき、地域の特色を活かした魅力的な産地づくりに向けた取組を支援します。

水田農業高収益化推進助成

都道府県が策定した「水田農業高収益化推進計画」に位置付けられた産地における以下の取組を支援します。

- ① 高収益作物定着促進支援(20,000(30,000※1)円/10a×5年間)(②とセット)
- ② 高収益作物畑地化支援(175,000円/10a※2)
- ③ 子実用とうもろこし支援(10,000円/10a)

※1 加工・業務用野菜等の場合

※2 令和5年度までの時限単価。その他の転換作物に係る畑地化は10.5万円/10aで支援

都道府県連携型助成

都道府県が転換拡大に取り組む生産者を独自に支援する場合に、国が追加的に支援します。

水田リノベーション助成

産地と実需者との連携の下、新市場開拓用米等の低コスト生産等の取組を行う農業者を支援します。※1～3

※1 基幹作物のみ対象

※2 予算(20億円)の範囲内で、助成対象となる地域農業再生協議会を決定

※3 令和3年度補正予算「新市場開拓に向けた水田リノベーション事業」と一体的に執行

注3: 水田活用の直接支払交付金については、交付対象水田における対象作物の作付が対象です。

経営所得安定対策等推進事業等

(令和4年度予算概算決定額:73億円)

【令和3年度補正予算額:17億円】

システム運営など経営所得安定対策等の運営に必要な経費を措置するとともに、対策の推進、作付面積の確認等を行う都道府県、市町村等に対し必要な経費を助成します。

また、都道府県(農業再生協議会)への助成に当たっては、主食用米以外の作物への転換の動きにも配慮します。

上川農業改良普及センター名寄支所 活動体制

上川農業改良普及センター名寄支所では、4月1日の人事異動により、新たな活動体制となりましたのでお知らせします。

区 分		責任者	担当者	備 考
地域班	地域係	平山係長	小板専普・久保専普 山本普指・吉岡普職 越智主査・後藤主査 鴨下主査	名寄市区域
	広域	主査(畑作)	越智主査	名寄支所地区 士別支所地区 上川北部地区
	主査(畜産)	後藤主査		
	主査(園芸)	鴨下主査		

木村支所長

【人事異動のお知らせ】

転入者：よろしくお願いします



主査(園芸) 鴨下 孝子 専門普及指導員 久保 勝照

退職者：お世話になりました

普及職員 金澤 苗子
普及職員 奥野 壮大
普及職員 土佐野 渚



第三者経営継承について

※成立には、移譲希望者と継承を希望する就農希望者の合意の他、ご家族や地域の理解が重要です。

第三者経営継承とは、移譲希望者の農地・施設・機械等の有形資産と、技術・ノウハウなどの無形資産を家族以外の継承希望者に受け渡すことを通して経営を有償譲渡する手法です。次世代に資産を引き継ぐことで農業経営が継続されるとともに、地域のコミュニティを維持することにも大きく貢献することが期待されます。北海道農業公社では、新規就農を目指す方がいつでも閲覧できるよう、登録した経営移譲希望農家をHPで公開しています。（農場所在地・経営内容と規模・年間売上額・移譲の方法や住居などの情報が掲載されます。氏名の掲載はありません。）

◆経営移譲を希望される方や登録を検討される方は、名寄市経済部農業経営担当までご相談ください。

活動を通して農業の大切さや名寄の農業の魅力について発信しませんか？

（名寄市グリーンツーリズム推進協議会）

名寄市グリーンツーリズム推進協議会は、農業・農村への理解を広めることを目的に、農業体験の受入れを中心に活動を行っています。名寄市の安心安全な農産物を知っていただき、食べ物を生み出す農業の大切さを伝えるため、共に活動してみませんか。

現在、協議会の活動のメインとなっているのが、名寄市立大学（以下、名寄大学）学生の農業体験実習受入れです。名寄大学の講義「北海道の農と食」の授業の一環として、6月から7月までに3回の農業実習の受入れをしています。

参加した学生からは、農家の皆さんの苦労や楽しさ、「食」の大切さ、農業に関わってみたいなど、農業に対する意識の変化も見られます。

また、今後「農家民泊」による経営の多角化を目指す方には、簡易宿泊所の許可申請等の支援も行っております。ご興味のある方はぜひ、ご連絡をお願いします。



【農村女性活動支援事業のお知らせ】

女性農業者を応援します

助成金の対象経費		補助率及び限度額
大型特殊自動車免許取得	入学金、教習料、検定料等教習所へ支払う経費	経費の2分の1以内 5万円限度
フォークリフト運転技能講習受講	講習料、テキスト代等	
補助対象の内容等：名寄市に居住し、現に農業に従事している女性農業者（就農5年以内の後継者及び雇用されているパートさんや従業員は除く）		

市内での研修・講習会	講師謝礼、講師旅費、会場使用料、印刷費など	3万円以内
市外での研修・視察	研修会参加費、資料代、交通費、宿泊代等	経費の2分の1以内 5万円限度
補助対象の内容等：女性農業者や農村女性グループが自ら行う、農業技術や知識、農業経営の多角化など 係る研修会や講習会及び市外での視察・研修会の費用を助成		

※農業に従事する女性を支援する事業です。お気軽にご相談ください。

■このページに関するお問い合わせは、名寄市経済部農業経営担当（内線 2319・2313・2312）
風連庁舎 01655-3-2511 / 名寄庁舎 01654-3-2111

～名寄市農業振興センターからのお知らせ～

令和4年（2022年）度 名寄市農業振興センターの事業計画内容について

○水稲について

①水稲優良品種決定現地試験

本年度も上川農業試験場より委託を受け、上川農業改良普及センター指導のもと、名寄地域における有望系統の適応性試験を行います。本年度は、上川農試の新試験系統「上育糯（もち）484号」を加えて実施します。

播種日：2022年4月15日

品種：はくちょうもち、風の子もち、上育糯（もち）484号【新規】

②密苗栽培試験（3年目）

本年度も、機械メーカーと連携し、近年注目されている栽培省力化技術である「水稲密苗栽培」について名寄地域における適応性試験を実施します。

播種日：2022年4月28日

品種：はくちょうもち・風の子もち

栽培概要：通常よりも播種量を多くしたマット苗（水稲密苗栽培用）を用いて、10a当りの育苗枚数を減らすことで育苗の面積と労働時間の削減を目的とした技術です。



密苗の移植風景
(写真は2021年度)

③施肥法比較試験（3年目）

マイクロロングポット局所施肥法の適応性検討を行います。

品種：はくちょうもち

栽培概要：ポット播種時にマイクロロングトータル280（100日タイプ）をポット当たり30g混和して播種した苗を用い、慣行栽培との生育・収量比較を行います。

※ご興味のある方はぜひ当センターまでお越しください！
お問い合わせ・ご質問等は下記までお気軽にどうぞ！！

名寄市農業振興センター

名寄市風連町緑町396-2

TEL01655-3-2258

その他の令和4年（2022年）度 名寄市農業振興センターの事業計画

作物・事業名	課 題	目的・試験内容 等	備 考
春小麦	優良品種決定現地試験（上川農試委託）	有望系統の名寄地域における適応性検討	品種：春よ恋（対照）、HW10号（供試）
大 豆	新品種栽培試験【新規】	新品種の収量増を目指した栽培方法の検討	品種：とよまどか【協議前】
南 瓜	品種比較試験（6年目）	南瓜産地として生産量・品質向上を目的とした栽培品種の検討	慣行栽培品種（TNK-157・TNK-163等） 栽培省力品種（A J-139等）
スイートコーン	施肥法比較試験（3年目）	ワイドユース、追肥用肥料使用による収量・品質比較調査	・ワイドユース450使用時の収量比較調査 ・マルチミックス使用時の品質比較調査
グリーンアスパラ	栽植密度比較試験（ハウス栽培）（5年目）	新系統（ウェルカムA T）の当地に適した栽植密度の比較試験	ウェルカムA T・メーカー試験品種他
薬用作物	カノコソウ栽培法試験（6年目）	当地におけるカノコソウ収量増加を目的とした栽培方法の検証	・高畝マルチ栽培、栽培法変更による比較 ・減収要因であるセンチュウ対策 等
	カノコソウ種苗（親株）供給	カノコソウの優良種苗の供給	・取りまとめに基づき次年度春供給 ・培養由来の苗供給に向けた取組
冬期野菜	冬期無加温栽培（9年目）	冬期の農業収入確保として、パイプハウスを活用し無加温栽培による栽培検証	ハウレン草等の葉物野菜を中心とした品目 ・栽培法の検討（9～3月）
土壌診断	窒素分析の推進	土壌窒素診断の普及による総合的な土づくり施肥指導の確立	一般分析、窒素分析により施肥設計をすることで、低コスト化と高品質化を図る
組織培養	優良種苗供給	バイオテクノロジーを活用し、優良種苗を供給	生産部会と連携 食用ユリ・カノコソウ等
その他	実証・展示など	小果樹 等	ブルーベリー、ハスカップ 等
		種子発芽率調査（JAより依頼）	スイートコーン、水稻などのシーズン前発芽率調査
		薬用作物	センブリ、シソ、ショウガ 等
		加工用園芸作物の当地域への適応性調査	加工用露地トマト（3年目） 等
		子実コーン栽培における名寄地域への適応性検討【新規】	子実コーンの当地への栽培適性検証
		堆肥連用による効果検証【新規】	堆肥を活用した土づくりの推進のため複数年連用による土壌への効果の検証
		ハウス活用品目であるミニトマトの栽培方法の検討と有望品種展示	品種：アイコシリーズ、キャロル10 他
	巡回指導の実施	関係機関と連携し、基本技術の確認と励行を図る	新規就農者を中心に実施
	ICT農業に関する情報提供	ICTを用いた農業分野への利用について、当地への導入へ向けた調査研究実施	ハウス内環境の制御やデータを活用した収量・品質の向上、省力化などへ向けた技術の検証・情報提供
	各種講座	名寄における農業への提案として、各テーマについて講座を設置し情報提供を行う	・気象変化に強い土づくりへの取組 ・水稻省力化栽培への取組 ・寒さを生かした冬の農業への取組

土壌分析室からのお知らせ

本年度もJAより農産物の安定的な収量確保を目的に土壌診断分析手数料の助成（4月1日から11月30日申込分まで）が行われます。この機会に、今まで土壌診断をしたことがなかった方や、土壌の採取方法がわからない方のため、採取方法を改めて周知したくお知らせいたします。

土壌の採取方法

- ・全体に性質が同様な圃場・ハウスでは、少なくとも5ヵ所から土を均等に採取し、（下図左 参照）よく混ぜて1つのサンプルにしてください。
- ・明らかに他と性質が異なると考えられる地点は、別サンプルにしてください。
- ・土壌表面（1cmくらい）を除去し、深さ約20cmまでの土を移植ごてで採取してください。（下図右 参照）
- ・採取した土のうち、一般分析の場合は約350g（ジュース等の350mL缶の量を目安として下さい）をサンプルとしてお持ちください。（かたまりは避けてください）
- ・袋中の空気を抜いて口をしっかりと閉じ、マジックで氏名、採取した圃場番号を必ず記入してください。
- ・「土壌診断申込書」に必要項目を記入し、土壌サンプルと一緒にお申し込み下さい。

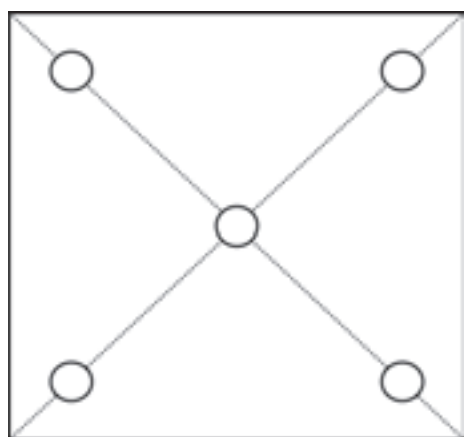


図 採取方法（○の地点で）

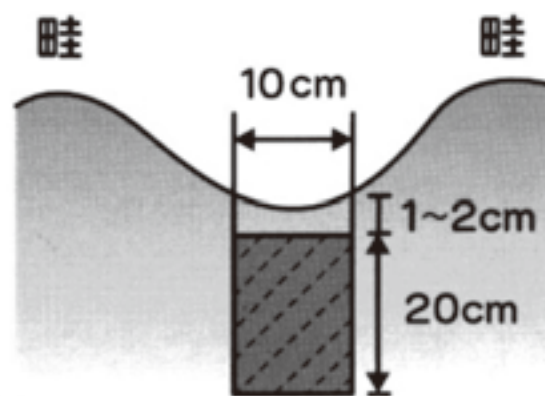


図 採取する土の深さ

土壌の受付は農業振興センターの他、JA営農センター、名寄支所購買課、智恵文支所購買課でも行っております。

いつ起こるか分からない
自然災害・火災等に備える



農業用建物内収容品保障プラン

例えば、このような事故・災害が発生しても…

火災



・バッテリー、配線ショート等による火災で収容品が損傷した

風・雪害



・大雪により建物が倒壊し収容品が損傷した

盗難



・建物に収容されていた農業機械が盗難被害を受けた

その他

・地震により建物が倒壊し収容品が損傷した

・建物内をトラクターで走行中、運転を誤り衝突した農業機械が損傷した*

※トラクターの損傷は除きます

*建物内に収容されている時に生じた損害に限ります。

JAのむてきプラスがしっかりと保障します！

POINT 1

火災はもちろん、地震や自然災害まで幅広く保障します！

※共済金のお支払いには所定の条件があります。

POINT 2

買い替え・修理にかかった実損害額を保障します！

※約款に定める基準により算定した損害額について、火災共済金額を上限にお支払いします。

※地震等による損害を除きます。

POINT 3

共済掛金の一部を必要経費に計上することができます！

※お支払いいただいた共済掛金のうち、満期共済金に充てるための積立共済掛金に相当する額を控除した残額を必要経費とすることができます。

ご契約例【保障の対象：営業用什器備品】

火災共済金額	1,500 万円	満期共済金額	50 万円
--------	----------	--------	-------

※共済価額：1,500 万円 臨時費用共済金の支払割合 30%



共済掛金（払込方法：年払 口座振替扱い）

（2022 年 4 月現在）

農作業場・倉庫など（普通物件第 1 種）

単位：円

保障期間	建物の構造		
	木・防火造	耐火造 B・C	耐火造 A
30 年 (10 年継続 2 回)	87,734	60,117	50,282
20 年 (10 年継続 1 回)	95,856	68,246	58,414
10 年	120,702	93,113	83,290

籾・雑穀乾燥施設※など（普通物件第 2 種）

※火力乾燥を行うもの

単位：円

保障期間	建物の構造		
	木・防火造	耐火造 B・C	耐火造 A
30 年 (10 年継続 2 回)	93,534	60,953	53,145
20 年 (10 年継続 1 回)	101,646	69,081	61,276
10 年	126,457	93,941	86,148

お問い合わせ先

JA道北なよろ 本所 金融共済部共済課 01655-3-2521

名寄支所 01654-2-4531 / 智恵文支所 01654-8-2111



※お引受けには所定の条件があります。*

※継続特約を付すことにより、通算の共済期間を 20 年または 30 年にすることができます。継続後のご契約に適用される約款・掛金率は、継続の時点における約款・掛金率となります。

※記載の税務の取扱いは、2022 年 1 月末現在の法令等および国税当局への照会結果に基づくものであり、将来の取扱いを保証するものではありません。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【22019990067】

J A道北なよろ～巡回ドック・人間ドック日程のご案内～

巡回ドック 令和4年8月18日(木) 午前7時30分～午前9時 営農センター

予約取纏期間 6月1日(水)～6月30日(木)迄

人間ドック 旭川厚生病院 午前7時30分頃～午後3時30分頃

予約取纏期間 7月1日(金)～7月30日(土) 迄 定員になり次第締切

**※病院の方針で、今年度もバスの送迎はございませんので
各自での受診となります。お間違いのないようお願い致します。**

男 性

令和4年11月16日(水) 定員35名

令和5年2月3日(金) 定員25名

女 性

令和4年10月13日(木) 定員25名

令和4年11月17日(木) 定員20名

令和5年2月2日(木) 定員20名

予約取纏時期になりましたら、全戸FAXにてご案内致します。

日頃の健康管理、病気の早期発見・治療の為に、ぜひ人間ドックの受診をご検討下さい。

担当窓口は 営農課 です。お気軽に、ご相談・お問い合わせ下さい。

本所 (01655)3-2521 営農センター (01654)3-4307

【旭川厚生病院の人間ドックを受診予定の方へ】

平成30年度より上部消化管（胃・食道・十二指腸球部位）検査方法について胃バリウム、または胃内視鏡（胃カメラ）が選択できるようになりました。

ただし、胃カメラを選択された場合、**3,300円（税込）**の差額料金がかかります。また胃カメラは助成の対象外となります。

30歳～74歳の国保加入の方

40歳～74歳の方は5月末に送付いたします受診券を必ず旭川厚生病院へお持ちください。

- 人間ドック費用のうち特定健診費用分（7,150円）が自動助成されるため、窓口負担が軽減されます。なお、自動助成の対象は人間ドック受診時に国保加入の方です。通算加入年数は影響しません。
- 自動助成の金額は、特定健診における詳細健診が発生した場合、増額となる場合があります。
- 国保の人間ドック助成（2 / 3 助成）の有無に関わらず、受診結果は特定健診を受診したこととして扱い、受診結果により保健指導をご案内します。

75歳以上の方

- 人間ドック費用のうち健康診査費用分（7,150円）が自動助成されるため、窓口負担が軽減されます。
- 自動助成の金額は、特定健診における詳細健診が発生した場合、増額となる場合があります。
- 人間ドック受診時に75歳以上の方は人間ドックの助成（2 / 3 助成）はありません。
- 受診結果は特定健診を受診したこととして扱い、受診結果により保健指導をご案内します。

名寄市国民健康保険 人間ドック等費用助成について

名寄市国民健康保険に加入している30歳以上の方が人間ドックを受けた場合、市役所国保窓口への申請により、名寄市から費用の3分の2を助成しております。

J Aからの助成金につきましては、正組合員とそのご家族の方へ精算時に自動助成しております。〔J A年度内、1名につき3,000円〕※国保・健保問わず一律

名寄市申請助成の対象条件及び申請に必要な書類は次のとおりです。

なお、オプション検診については、一部助成対象外となります。

1 助成対象となる方 【(1)～(4)のすべてを満たす方】

- (1) 満30歳以上の方
- (2) 名寄市国民健康保険の加入期間が、過去10年間で1年以上ある方。または、名寄市国保に10か月以上継続して加入し、かつ通算して1年以上の加入が見込まれる方
- (3) 名寄市国民健康保険税の滞納がない世帯の方
- (4) 今年度内に、保健センター等で実施する「特定健診（健康診査）」を受診しない方

2 申請に必要な書類（農協よりドック申込みされた方へは精算後すべて郵送致します）

- (1) 国民健康保険人間ドック・脳ドック助成交付申請（請求）書（様式第1号）
- (2) 領収書
- (3) 明細書
- (4) 問診票の写し
- (5) 検査結果の写し

※旭川厚生病院で人間ドックを受けた方は、検査結果が病院より直接市へ送付されるため、問診票と結果票の提出は不要です。

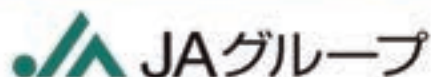
3 その他

- (1) 助成は年度内(4月～翌年3月受診)に1回です。
必要書類が揃いましたら、速やかに手続きをお願いします。
- (2) 保健センターで実施する「特定健診（健康診査）」との重複受診はできませんのでご注意ください。
- (3) 受診結果は特定健診を受診したこととして扱い、受診結果により保健指導をご案内します。

〒096-8686 名寄市大通南1丁目 名寄市役所 市民課国保高齢医療係
TEL (01654) 3-2111(内線3116)

はじまります！

インボイス制度



1 課税事業者と免税事業者

課税事業者とは、前々年の課税売上高※¹が1,000万円を超える事業者をいいます。免税事業者とは、前々年の課税売上高※²が1,000万円以下の事業者です。

※¹ 農業では主に農畜産物の販売高、作業受託料、使用していた農機等の売却代金が該当します

※² 前々年の課税売上高が1,000万円以下の事業者も、届出書の提出により課税事業者になることができます

課税事業者と免税事業者では、消費税の取り扱いに違いがあります。

● 農家が課税事業者の場合



● 農家が免税事業者の場合



2 インボイス制度とは

令和5年10月1日より、現行の区分記載請求書等保存方式に代えて導入される制度です。正式名称は、適格請求書等保存方式といいます。インボイス制度のもとでは、事業者は以下の対応が求められます。

● 販売時・仕入時の対応

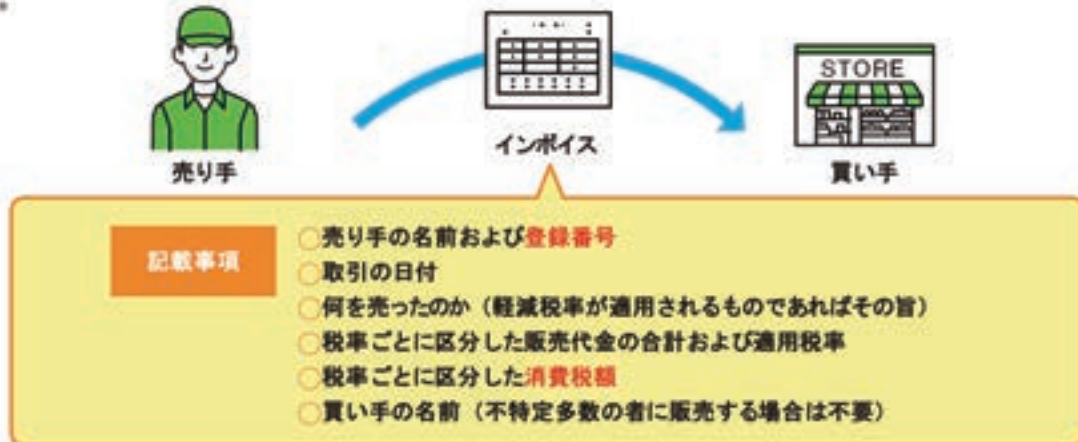
事業者区分	販売時の対応 (証憑の発行)	仕入時の対応 (仕入税額控除)	
		本則課税	簡易課税
適格請求書 発行事業者	課税事業者である買い手 からの求めに応じインボイスの 発行が義務化※	売り手から発行された インボイスを基に 計算※	現行通り (インボイス不要)
課税事業者	現行通り (インボイスの発行不可)		
免税事業者			

※農協特例 (3ページ①を参照) の適用を受ける場合を除く

インボイスがない取引は仕入
税額控除ができなくなります。

3 インボイス（適格請求書）とは

消費税の税率が複数存在する中、売り手から買い手に対して適用税率や消費税額等を正確に伝えるための書類のことをいいます。



4 適格請求書発行事業者とは

納税地の所轄税務署から事業者登録番号の交付を受けた事業者のことを、適格請求書発行事業者といいます。インボイスは、適格請求書発行事業者でないと発行をすることができません。

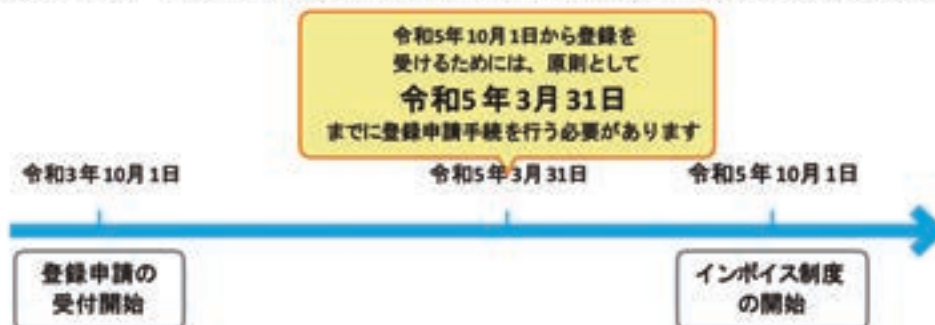


※e-taxによる申請も可。郵送の場合は管轄地域の「インボイス登録センター」へ

5 適格請求書発行事業者になるためには

令和5年10月1日のインボイス制度の開始と同時に適格請求書発行事業者となり、インボイスの発行ができるようになるためには、原則として令和5年3月31日までの間に申請をする必要があります。

■ 登録申請のスケジュール 国税庁リーフレット「適格請求書等保存方式の概要－インボイス制度の理解のために－」を基に作成



※免税事業者の方は経過措置により、令和11年9月30日までの間は、年の中途からでも適格請求書発行事業者になることができます

なお、登録申請はあくまで任意です。特に消費税の免税事業者である方は、適格請求書発行事業者として登録されると課税事業者として消費税の申告が必要になりますので、申請の前に慎重な検討が必要です（4ページ『【参考】登録申請の検討にあたり考慮すべきこと』を参照）。



農作物を販売する場合

① JA等に販売を委託する場合（農協特例）

組合員である生産者の農産物をJA等が①無条件委託方式による販売をし、その代金を②共同計算方式により精算する場合には、生産者は適格請求書発行事業者であってもインボイスの交付義務が免除されます。この場合、購入者はJA等が発行する書類により仕入税額控除が可能となりますので、生産者が適格請求書発行事業者であるかないかは関係ありません。

■ 農協特例が適用される取引の例



② JAファーマーズマーケットで委託販売する場合（媒介者交付特例）

ファーマーズマーケットでの委託販売は無条件委託方式および共同計算ではないため農協特例は適用されませんが、出荷者が適格請求書発行事業者の場合はJAが出荷者に代わりインボイスを発行し、購入者へ交付することができます。

■ 媒介者交付特例が適用される取引の例



③ 業者等に直接販売をする場合

JA等を通じた委託販売ではなく、業者の方に直接販売している場合には、先方よりインボイスの発行を求められる可能性があります。適格請求書発行事業者でない場合はインボイスを発行することができませんので、難色を示される可能性があります。

■ 直接販売先である業者からインボイスを求められる取引の例

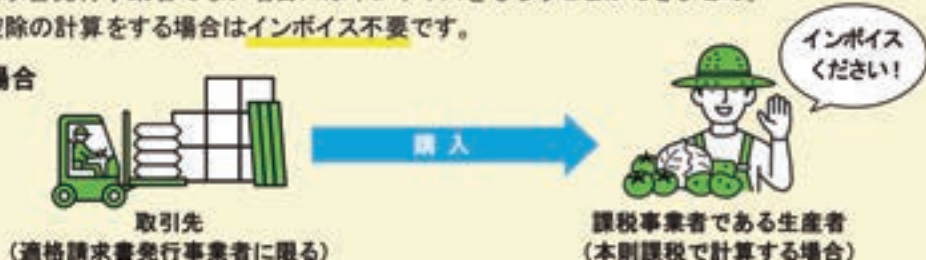


農業用資材や農機等を購入する場合

課税事業者である生産者の方が農業に関するさまざまな支出をし、それらを消費税の計算で仕入税額控除の対象とするためには、取引先が発行したインボイスを受領する必要がありますので、必ず先方にインボイスの発行を求めてください。ただし、その相手が適格請求書発行事業者でない場合にはインボイスをもらうことができません。

なお、簡易課税で仕入税額控除の計算をする場合はインボイス不要です。

■ 生産者が仕入れる立場の場合



よくある質問

Q1 令和5年10月1日の段階で課税事業者であれば自動的に適格請求書発行事業者になるのでしょうか。

A1 課税事業者であっても、事業者登録番号の交付申請手続きが必要です。

Q2 適格請求書発行事業者になった場合、販売時には必ずインボイスを発行しなければならないのでしょうか。

A2 適格請求書発行事業者は、課税事業者である購入者から要求された場合のみ、インボイスの発行が義務になります。なお、以下の場合にはインボイスの発行は不要です。

- ・購入者が業者でない場合
- ・購入者が免税事業者である場合
- ・購入者が課税事業者であるがインボイスの発行を求めてこない場合

ただし、これらは販売時には判別できないため、適格請求書発行事業者はインボイスの発行ができる体制を整えておく必要があります。

Q3 簡易課税で仕入税額控除の計算をする場合も、インボイスが必要なのでしょうか。

A3 仕入税額控除をする際にインボイスが必要となるのは本則課税で計算する場合のみです。簡易課税で計算する場合にはインボイスは不要です。

Q4 適格請求書発行事業者は簡易課税を選択すると、インボイスを発行できなくなるのでしょうか。

A4 簡易課税を選択しても、適格請求書発行事業者はインボイスを発行することができます。

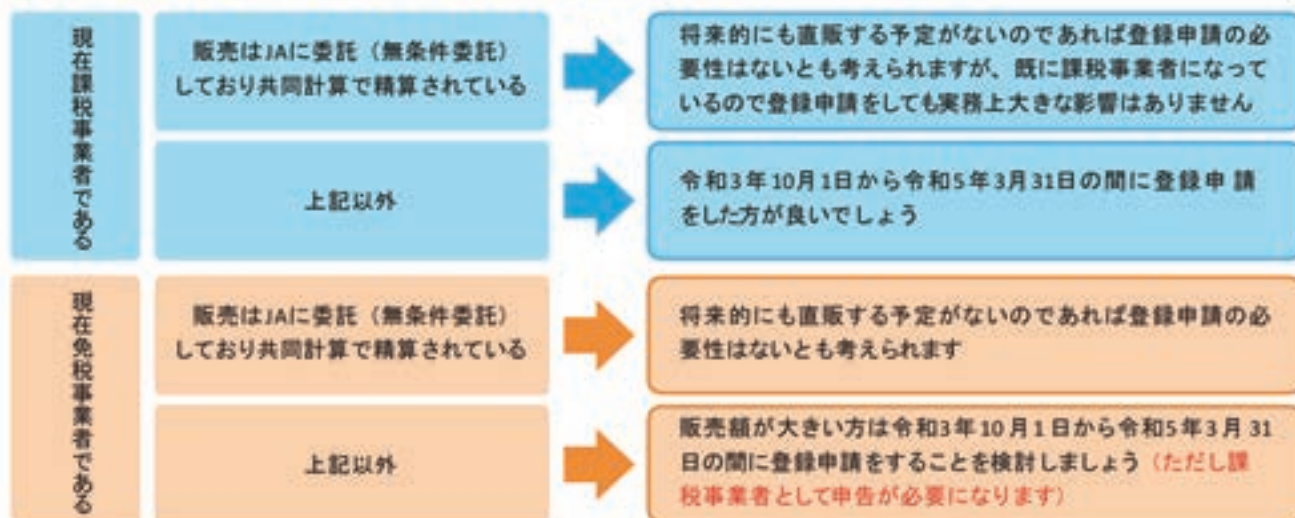
Q5 免税事業者で適格請求書発行事業者になることは考えていませんが、何か不利益はあるのでしょうか。

A5 インボイス制度のもとでは、買い手は適格請求書発行事業者以外の事業者との取引について仕入税額控除ができなくなりますので、免税事業者のままだと取引を敬遠されたり、価格等の条件面で不利になる可能性があります。ただし、販売先が消費者のみの場合やJAの委託販売を利用して農協特例の適用を受ける場合等はインボイス不要となりますので、将来的にどのような販路で農産物を販売したいのかよく検討したうえで、適格請求書発行事業者になるかどうかの判断が必要になります（下記『【参考】登録申請の検討にあたり考慮すべきこと』を参照）。

Q6 農事組合法人にはどのような影響があるのでしょうか。

A6 農事組合法人は、免税事業者である組合員・取引先との間で、従事分量配当、作業委託、種苗等の購入、農機の借り入れ等のさまざまな取引がありますが、免税事業者はインボイスを発行できないため、農事組合法人側において仕入税額控除ができなくなります。農事組合法人の財務への影響を試算し、法人の運営について検討することが必要です。

【参考】登録申請の検討にあたり考慮すべきこと



※JAへの販売委託とそれ以外が混在する場合はJAにご相談ください

理事会の経過

第十一回理事会

開催日 十二月二十日

- 一、定例監査講評について
監事会報告通り決定
- 二、コンプライアンス規程の一部改正について
提案通り決定
- 三、文書管理規程の一部改正について
提案通り決定
- 四、組合と理事との契約（貸付）について
提案通り決定
- 五、長期共済新契約配当基準について
提案通り決定
- 六、理事との覚書取り交わしについて
提案通り決定
- 七、令和三年度経営所得安定対策交付金に係る理事への仮渡しについて
提案通り決定

協議事項

- 一、地区別懇談会の意見要望について
提案通り決定

第十二回理事会

開催日 一月二十六日

- 一、令和四年度内部監査計画について
提案通り決定
- 二、出資金持分譲渡の申出について
提案通り決定
- 三、出資金減口の申出について
提案通り決定
- 四、組合員資格審査について
提案通り決定
- 五、令和四年度役員報酬審議会委員の委嘱及び諮問額について
提案通り決定
- 六、定款の一部変更について
提案通り決定
- 七、転貸資金の借入について
提案通り決定
- 八、令和三年度クミカン精算時における自己査定に係る破綻懸念先への貸付について
提案通り決定
- 九、令和四年度信用供与等の限度額について
提案通り決定
- 十、令和四年度理事に対する預金担保貸付金及び共済担保貸付金の包括事前承認について
提案通り決定
- 十一、防衛施設事業に係る固定資

産の賃貸契約について
提案通り決定

- 十二、決算手当の支給について
提案通り決定

令和四年度第一回理事会

開催日 二月十八日

- 一、出資金持分譲渡の申出について
提案通り決定
- 二、自動車運行管理規程の一部改正について
提案通り決定
- 三、令和四年度コンプライアンスプログラムの制定について
提案通り決定
- 四、目的積立金の取崩について
提案通り決定
- 五、固定資産（土地）の取得及び建物修繕について
提案通り決定
- 六、組合と理事との契約（貸付）について
提案通り決定
- 七、らくみらんど（株）への貸付について
提案通り決定
- 八、機構改革について
提案通り決定

協議事項

- 一、令和三年度剰余金処分（案）について
提案通り決定

第二回理事会

開催日 三月二十四日

- 一、出資金持分譲渡の申出について
提案通り決定
- 二、役員賠償責任保険契約の締結について
提案通り決定
- 三、リスク評価書の一部変更について
提案通り決定
- 四、育児及び介護休業規程の一部改正について
提案通り決定
- 五、令和三年度決算について
提案通り決定
- 六、令和三年度決算監査について
監事会報告通り決定
- 七、みのり監査法人期末監査について
提案通り決定
- 八、令和四年度経営定期点検実施計画書について
提案通り決定
- 九、令和四年度固定資産取得及び

処分計画について

提案通り決定

十、名寄市資源保全広域協定との業務委託契約について

提案通り決定

十一、固定資産取得に係る取り進めについて

提案通り決定

十二、組合と理事との契約（貸付）について

提案通り決定

十三、自己査定に係る破綻懸念先への貸付及び四、〇〇〇万円超の信用供与等に係る承認について

提案通り決定

十四、与信残高四、〇〇〇万円超の貸付に係る承認について

提案通り決定

十五、令和四年度不良債権の処理方針について

提案通り決定

十六、理事との買取販売取引の包括的承認について

提案通り決定

十七、名寄市営牧場指定管理者の変更について

提案通り決定

十八、令和四年度事業計画の設定について

提案通り決定

十九、第十七回通常総代会の開催

について

提案通り決定

二十、第十七回通常総代会参考書類（議案の概要）の記載事項について

提案通り決定

二十一、議決権行使書面の行使権限及び行使にあたっての留意事項について

提案通り決定

二十二、令和四年度組合員勘定制度における四、〇〇〇万円超の新規投資計画について

提案通り決定

二十三、防衛施設事業に係る負担金の徴収について

提案通り決定

二十四、らくみらんど（株）令和四年度事業計画の設定について

提案通り決定

協議事項

一、地区別懇談会の開催について

提案通り決定

第三回定例理事会

開催日 四月八日

一、出資金減口の申出について

提案通り決定

二、出資金持分譲渡の申出について

提案通り決定

三、令和三年度業務報告書の行政庁提出について

提案通り決定

四、令和四年度余裕金運用について

提案通り決定

五、ディスクロージャー誌について

提案通り決定

六、退任役員に対する役員退職慰労金の支給について

提案通り決定

七、役員報酬の配分について

審議し決定

協議事項

一、役員研修について

提案通り決定

JAのあゆみ

12月 7日～8日

- ・・・地区別懇談会
- 15日・・・第3回経営改善特別対策委員会
- 17日・・・第6回経済委員会
- 17日・・・第7回総務委員会
- 20日・・・第2回臨時総代会
- 20日・・・第11回定例理事会

令和4年

- 1月25日・・・第7回経済委員会
- 25日・・・第8回総務委員会
- 26日・・・第12回定例理事会
- 31日・・・決算棚卸監査

2月9日～10日

- ・・・みのり監査法人期中監査

14日～15日

- ・・・自己査定監査
- 15日・・・第1回総務委員会
- 15日・・・第1回経済委員会
- 18日・・・第1回定例理事会
- 21日～25日

- ・・・みのり監査法人期末監査

28日～3月4日

- ・・・決算監査

3月4日・・・第1回経営改善特別対策委員会

- 22日・・・第2回経済委員会
- 23日・・・第2回総務委員会
- 24日・・・第2回定例理事会

4月4日～5日

- ・・・地区別懇談会
- 8日・・・第17回通常総代会
- 8日・・・第3回定例理事会

職員の動き（退職者）

お世話になりました。

米村 敏明 令和4年3月31日 総務部部長

又村 明仁 令和4年3月31日 営農部審査役

（引き続き営農販売部（名寄市農業振興センター出向）にて勤務いたします）

中山 勝憲 令和4年3月31日 総務部審査課課長



1	土鍋でグツグツ。名古屋名物○○○○うどん	31	で○○を取る サトウキビが原料の蒸留酒
2	本場香川の○○○○うどん	33	山かけうどんにのっています
3	体温計を挟む場所	34	えび天が主役の○○○○
4	何事にもキッチリした性格	36	○○うどん 画家の作業場
5	うどん定番の薬味	38	うどんを入れることもあるお袋の味
6	水まきに使う管	40	特に警戒すべき○○○○ ○○○○人物
7	ラフダに乗れる日本最大級の砂場	41	黄色い汁が服に飛ばないように！
8	釣り糸の先でプカプカ浮かぶ	43	形を使ったら固まる着色もできるネンド
10	写楽や北斎が描いた○○○絵	45	追いかけるように歌うこと
12	揚げ玉がのった○○○うどん	46	旅行から無事、○○に就く
15	郵便局内に設けるポスト	48	あらぬ○○○をかける
17	吉野彰が受賞したノーベル賞の部門	49	稲妻という意味の洋菓子
19	シングルベッドが2台の部屋	51	筋の通った○○整然とした話
21	琵琶湖がある県	52	江戸町奉行で同心を指揮した役職
22	卑劣な手段のこと○○○○が汚い	54	那須与一が命中させた
24	ロッカー・パーキング・ランドリー		
26	名古屋銘菓		

- 38 37 36 35 33 32 30 29 28 27 25 23 21 20 18 16 14 13 11 9 6 4 1
- 群馬県伊香保名物○○○○うどん
お揚げがのった○○○○うどん
うどんに似た麵を使う山梨の郷土食
予告なしの○○○○テスト
フラメンコの伴奏楽器
ムーン
出世したら故郷に飾れます
東京特許○○○局は存在しません
泥棒。○○○○猛々しい
うどんの弾力
ポークジンジャー
うどん出汁にも使う煮干しのこと
「茗荷」の読みは？
出演者名を書いた演芸場の紙の札
透明出汁の○○○○風うどん
同じ数を2つ合わせて2○○に
共学だけど女子がないクラス
斜め後ろだけ動かせない将棋の駒
ヒントはうどん似。「心太」の読み方
未来を知らせる夢
串に刺して囲炉裏で塩焼きする川魚
天に任せます
英語ではタワ―

「E」のキー

- 60 59 57
- 扇の○○
力士が踏みます
○○やるの？ 今でしょ！
つかめれば何事もうまくできます

- ・西本 美恵子(智恵文)
・尾関 幸子(智恵文)
・土屋 和恵(名寄)
・林 瑠実子(風連)
・檜山 さつき(風連)
- 正解者の中から抽選で次の5名の方に商品券を送ります。
- 〔ワノココロタイセツニ〕

前回のパズルの答え プレゼント当選者

- 63 62 61 58 56 55 54 53 52 50 47 46 44 42 39
- 私立学校で小学校にあたる課程
コーヒードリップの原理
カラメルと相性抜群の洋菓子
カップパの大好物
ダビデ像の作者
サフランボ
試験に向けて準備に○○○がない
絹のこと
不愉快なときに、ひそめます
ワックス彫刻とも言う○○○人形
会議を省いて承認をもらう書類
アイスクリームや氷を貯蔵
芝居小屋の入場料、○○銭、
↑低気圧
長寿を願う長い○○○○うどん

声の広場

- ◎毎回楽しみにしています。令和に入って早4年。早いですね。コロナもなかなか終息しませんが、新しい年はどうか良い年であります様に。(風連 豊里)
- ◎動物のいない我が家ですが、冬は猫・鹿・キツネ、夏は狸・熊・ネズミと寂しくなくらいウジャウジャしているの、ぼったくるのが忙しい生活です。野菜のハウスの中にはカラスが入り、トマトをつつかれる始末。昔はこんな事無く軒下にも魚を干せたり、時代の流れて恐ろしいですね。楽しい事もたくさんあるけれど…。(風連 日進)
- ◎パズル楽しみにしています。夫も年をとったのか、私が投げ出すとその後「ああでもない…こうでもない…」と頭の体操。二人で会話を楽しんでいます。(それでもわからない時は若夫婦にお願いします)(風連 日進)
- ◎農業経営の基礎講座、わかりやすかったです。改めて知った上で今年はいいい年になりますように！(笑)(智恵文)
- ◎天気予報では今年もまた暑い年になるとか…。お米にも野菜にも良い気候である事を願いつつ頑張ります。(風連 日進)
- ◎我が家のうれしいお話です。先日アゲハ蝶が羽化しました。大きさはモンシロチョウくらいですが、しっかりとアゲハ模様ですよ。ハッピー！雪多い年は豊作といいますが、秋を楽しみにコロナにも負けず頑張りましょう。(名寄 徳田)
- ◎酪農は大変だとわれ続けて35年。畑作の方が大変だと実感する今日このごろです。(智恵文)
- ◎4歳の姪がお年玉を全額入れたお財布を紛失。家族全員でお店中を探し回っているとお店の商品の中にディスプレイされているのを発見！皆がホッとした瞬間でした。(風連 仲町)
- ◎今年も農作業が順調に進みますように…。もうシニアと呼ばれる年齢ですが、ピアノに挑戦してみたいと思っています。(風連 豊里)
- ◎初投稿！春には息子が初登校！気になる世界のコロナの動向！誰がどうこう言おうとがんばるYO!!(風連 豊里)
- 今回の応募総数は28通でした。ありがとうございました。編集者の個人的な意見ですが、素敵なラップ(韻を踏む文章)を送ってくださった最後のお便りがとてもツボにはまりましたYO！皆様からの沢山の応募お待ちしております！

JA道北なよろ 電話・FAX番号一覧表

R4.4月現在

本 所	
総務課・営農課・農産課	代表 01655-3-2521
	FAX 01655-3-4037
(営農課)	FAX 01655-3-4045
金 融 共 済 部	直通 01655-3-2030
	FAX 01655-3-3768
倉庫(大町3-1)	直通 01655-3-2022
	FAX 01655-7-2400
乾 燥 施 設	直通 01655-3-4131
(7月～12月頃)	FAX 01655-3-2591
半 乾 施 設	直通 01655-3-4135
(10月～11月頃)	
風連玄バラ施設	直通 01655-3-4500
(9月～11月頃)	FAX //
風 連 検 査 場	直通 01655-3-2015
(9月～11月頃)	
上川RT名寄工場	直通 01654-2-1320
	FAX 01654-2-1322
購 買 課	直通 01655-3-2525
(資材店舗)	FAX 01655-3-2925
農 機 車 輛 課	直通 01655-3-2168
	直通 01655-3-4435
	FAX //
燃 料 課	直通 01655-3-2209
	FAX 01655-3-2219
風 連 農 民 連 盟	直通 01655-3-2597
らくみらんど(株)	直通 01654-2-3170
	FAX 01654-2-3224
名寄市資源保全広域協定	直通 01655-3-2600
	FAX 01655-3-2611

営農センター	
営農課・青果課・畜産課	代表 01654-3-4307
	FAX 01654-2-5763
名寄玄バラ施設	直通 01654-3-8032
(9月～11月頃)	
智恵文乾燥調製施設	直通 01654-8-2413
(7月～12月頃)	
馬鈴薯集出荷施設	直通 01654-8-2776
(8月～12月頃)	
名寄農民連盟	直通 01654-3-9475
名寄支所	
金 融 共 済 課	代表 01654-2-4531
	FAX 01654-2-4533
購 買 課	直通 01654-2-1222
(資材店舗)	FAX 01654-2-4117
燃 料 課	直通 01654-3-6151
	FAX 01654-3-6152
智恵文支所	
金 融 共 済 課	代表 01654-8-2111
	FAX 01654-8-2534
購 買 課	直通 01654-8-2112
(資材店舗)	FAX 01654-8-2203
農 機 車 輛 課	直通 01654-8-2114
智恵文農民連盟	直通 01654-8-2842